

<日 程>

月 日	内 容
8 / 1 0 (水)	名古屋9:35発マニラ12:45着 (PR437) Manila Luxent Hotel泊
8 / 1 1 (木)	AM : PM : San Vicente Elementary School (12 : 00～16 : 00) Manila Luxent Hotel泊
8 / 1 2 (金)	AM : Pinyahan Elementary School (07 : 00～11 : 30) PM : Kapitbahayan Elementary Schoolの視察 (予定) 夜、診療班と合流 Manila Luxent Hotel泊
8 / 1 3 (土)	マニラ14:00発 (PR438) 名古屋 (18:55着)

参加者：AGUDAA 加藤、歯科衛生士2名（前澤、杉山）、名古屋歯科医師会付属歯科衛生士専門学校学生4名（浅山、犬飼、落合、籠戸）の計7名。

活動の内容と目的：イースト大学歯学部同窓会との共同事業としての児童体験型の保健指導（Dental Festival）の実施および Dental Festival が児童の口腔の健康維持に関する知識や態度に及ぼす影響度の評価

対象児：San Vicente Elementary School 3年生 9クラス 443名、Pinyahan Elementary School 3年生 8クラス 339名（Quezon city, Metro Manila,）

*この3年生は、2014年6月に入学し、ベースラインデータを記録後、2015年10月までフッ化物洗口を行ってきた学年（San Vicente：洗口群、Pinyahan：対照群）。



8月10日（水）

我々7名は、機材準備遅延のため定刻より約1時間遅れのPR437便にて、マニラに向けて出発した。着陸時の混雑も加わり、NAIA マニラ国際空港に到着したのは、14時であった。マンゴツアアの送迎により宿泊先であるLuxent Hotelには、15時50分に到着した。チェックイン後、直ちに、すでにホテルで待機していた成田先生と、翌日からの活動の準備や参加学生のショッピングなども兼ねて、Greenhills shopping center へ向かった。当初、15時30分にホテルを出る予定であったが、16時過ぎの出発となった。今年は、この時期としては、例年になく雨が多く、昨日、本日と2日間連続して、豪雨のためこの地域の小学校は休校になったとのことで、明日の天気に気を揉

むこととなった。Greenhills shopping center で Dr. Sandy Uy と合流し、Dental Festival で使用する用紙のコピーや買い物をした後、現地で成田先生とは別れ、我々は Dr. Sandy Uy の車でともにホテルに戻った。その後、ホテル近くのレストランで夕食を取りながら、翌日の打ち合わせを行った。

8月11日（木）

9時、ダーウィンと隆子夫妻がホテルまで挨拶に見えた。やはり、昨日、一昨日と学校は休校とのことであったが、今朝は通常通り子供たちも登校したと聞き、少し安堵した。10時、成田先生が、手配したバンでホテルに到着。12日に到着する診療班の使用する荷物を一時保管してほしいということで、受け取った荷物を我々の部屋に運ぶ一方、学校での活動に必要な機材をバンに積み込み、成田先生とともにホテルを出発。途中で昼食を購入し、San Vicente Elementary School には11時半頃到着した。校長室にて、校長に面会、活動内容について確認した。昨年訪問した際、工事中であった4階建て新校舎の最上階にカンファレンスルームがあり、そこを会場に使用して下さいとのことであった。階段しかないのが難点であったが、クーラーやアコーディオンカーテンの設置された明るく広い部屋であった。間もなく Dr. Sandy Uy と UE 同窓会メンバーが到着し、会場に次の4つのコーナーを設営した。

1 Caries identification by partners （う蝕の検出）

2 Beverage sugar analysis using special instrument （糖度計による飲料の糖分濃度測定）

3 Self-check of your gum condition （歯肉炎の検出）

4 Disclosing plaque and removing plaque with tooth brush （歯垢染色とブラッシング指導）

この日の参加者は、我々7名に加え、成田先生、Dr. Sandy Uy と彼の秘書および UE 同窓会メンバー10名であった。

今回は、Dental Festival の効果を評価するため、前の週に Dr. Sandy Uy が、2つの小学校を訪問し、3年生の全9クラスを対象に、事前アンケートが実施してあった。コーナーを設営し、各コーナーの目的や内容を説明した後、12時半より Dental Festival を開始した。クラスごとにカンファレンスルームに移動してきた児童は、10名1組となり、う蝕や歯肉炎の有無、飲料水の砂糖濃度の測定を通じたう蝕の主な原因である砂糖に対する注意点、歯垢の付着状況や歯磨き方法について、友達や自分の口腔を観察したり説明を聞いたりしながら、4つのコーナーを順に移動した。出口にて、児童に記念品の消しゴムとアンケート用紙を渡し、教室に戻るように伝えた。その後、Dr. Sandy Uy が教室に行き、事後アンケートを記入させ、用紙を回収した。今回は、限られた時間ではあったが、昼食や休憩を交互に取るなど、児童の流れを止めることなく効率的に活動したため、17時より前に3年生9クラス全員を参加させるこ



とができた。会場の復旧や片付けの後、6時30分ホテルに到着。着替えなどを済ませた後、ホテルに近いスペイン料理の見せに行き夕食を取った。夕食には、Dr. Sandy Uy と UE 同窓会メンバーであるアシロが参加した。

8月12日（金）

Pinyahan Elementary School の3年生は、San Vicente Elementary School と異なり、午前中のクラスのため、7時に、成田先生と昨日同様チャーターしたバンにてホテルを出発した。ホテルから比較的近い Pinyahan Elementary School には20分ほどで到着した。会場は、昨年も使用した1階の図書室であったので、直ちに活動の準備を進めた。前日の San Vicente Elementary School と同様、4つのコーナーを設営した。この日の参加者は、我々7名に加え、成田先生、Dr. Sandy Uy と彼の秘書および UE 同窓会メンバー12名であった。同窓会メンバーのうち2名は、昨日も参加していたので、設営や各コーナーの設営や他のメンバーへの説明も順調であった。また、Dean Dr Luciano によれば、今回学生の参加はないということであったが、昨年の Dental Festival にも参加した UE 学生4名が途中から参加してくれた。今回参加している UE 同窓会のメンバーから、誘われて参加したとのことであった。また、Pinyahan Elementary School の校長が、活動の様子を視察にきて、当初11:30で終了してほしいという話であったが、終礼の12時まで続けていただいて構わないということになった。実際には、予定の11時半には3年生8クラス全員に対して、活動を行うことができた。この日は、午前中から、時折強い雨脚にみまわれたが、午後のクラスは休校となってしまい、午前中に終えることができてホッとした。図書室を片付け、参加者全員で昼食を取った後、成田先生とバンにてホテルに戻った。成田先生は帰宅し、我々は着替えた後、休憩を取り、午後2時、チャーターしたバンを使って、Dr. Sandy Uy と Navotas にある Kapitbahayan Elementary School の視察に向かった。この小学校は、1年生だけで13クラスあり、全校生徒は約5000名。特別支援のクラスも擁する Navotas で2番目の規模を誇る学校と言うことであった。今回この学校を視察することにしたのは、将来的に Dr. Sandy Uy は、Santo Tomas の医学部学生を使って、フッ化物洗口を展開する希望を持っており、この学校に隣接して、現在 Dr. Sandy Uy が所属している University of Santo Tomas (UST) School of Medicine の Community center があるため、フッ化物などの管理が容易と考えられたためであった。残念ながらこの小学校も、降雨のため午後は休校で、授業の様子をみることはできず、UST の Community center に駐留する職員も、たまたまアクシデントで不在のため、話を聞くことはできなかった。現地に30分程滞在した後、帰路についた。徐々に雨脚が強くなり、道路の冠水やそれに伴う渋滞のため、ホテルに戻ったのは、17時半過ぎであった。その晩は、午後到着した治療班と合流し、ホテル近くの中華料理店で食事を取りながら、治療班への参加者や UE 同窓会のメンバーと親睦を計りながら、楽しい時間を過ごすことができた。

8月13日（土）

ホテルを10時にチェックアウト。マンゴツアーの送迎により空港に向かった。多少の渋滞はあったものの11時30分に到着。空港内では特にも問題もなく、予定通りPR438に搭乗した。しかし、今回の活動を象徴するかのようになり、やはり降雨のためなかなか飛行機が出発できず、機内で1時間以上待たされることとなった。帰名後、特に問題なく、解散した。

< dental festivalの流れ >

1 Caries identification by partners



2 Beverage sugar analysis using special instrument



3 Self-check of your gum condition



4 Disclosing plaque and removing plaque with tooth brush

